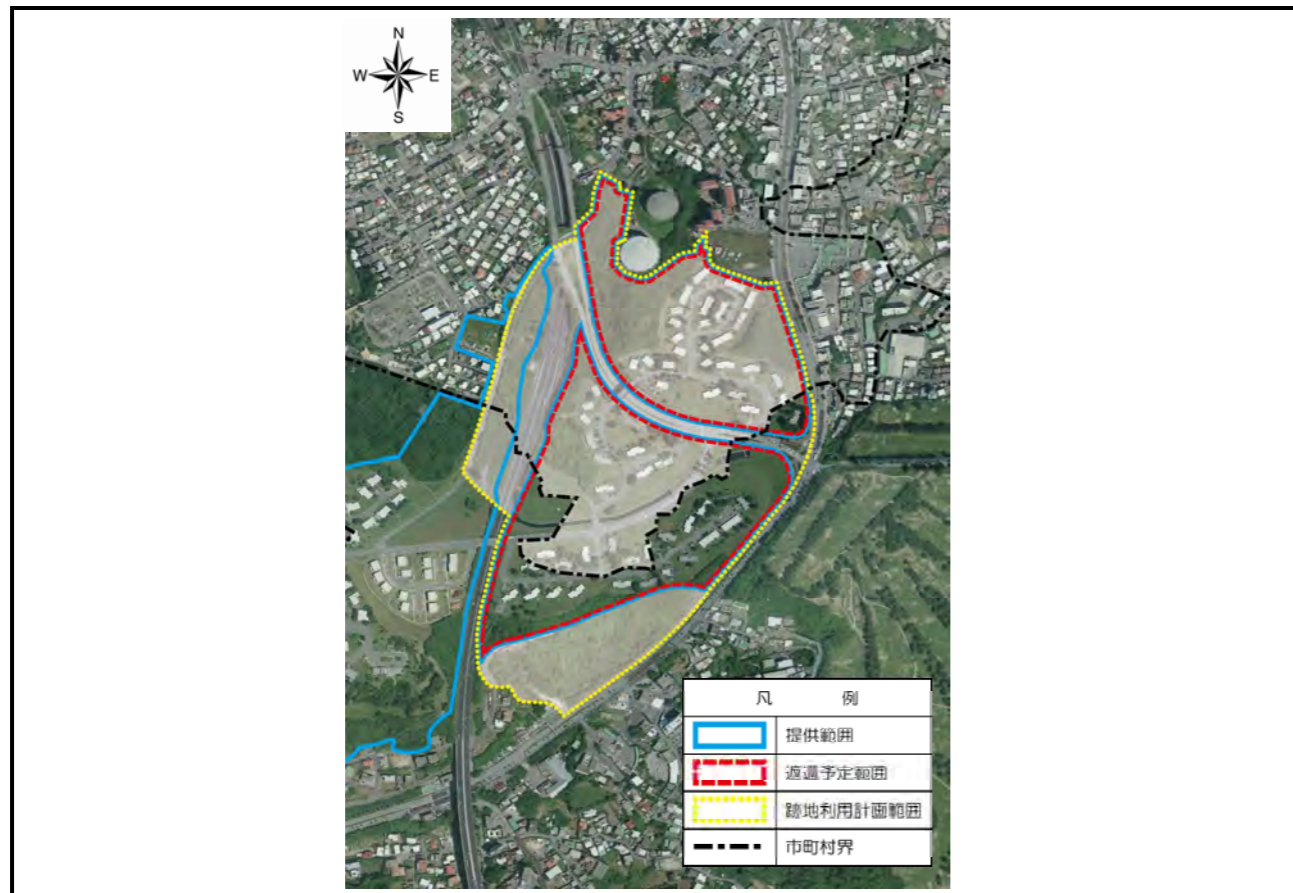
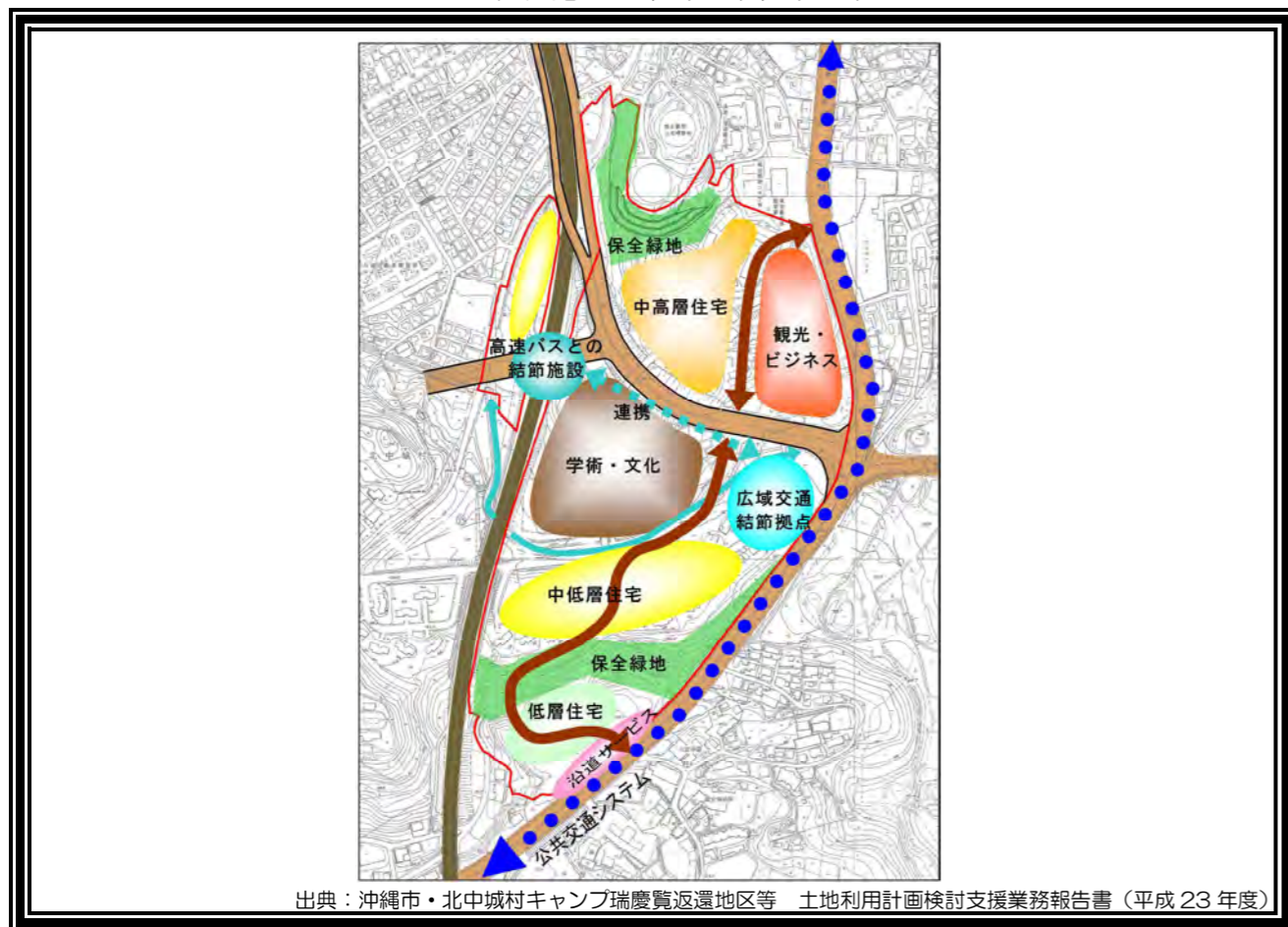


キャンプ瑞慶覧（ロウワー・プラザ住宅地区）（北中城村）

返還合意施設



土地利用計画素案（素案4）



出典：沖縄市・北中城村キャンプ瑞慶覧返還地区等 土地利用計画検討支援業務報告書（平成23年度）

■返還合意施設の概要等

□ 概要			
面積	約 7ha		■内訳
	国有地	0ha	0%
	県有地	0.2ha	2.9%
	市町村有地	1.7ha	24.2%
	民有地	5.1ha	72.9%
平成 25 年 4 月の統合計画の面積では、沖縄市域（約 16ha）を合わせて約 23ha である。 （内訳は北中城村提供）			
所在地	北中城村（字屋宜原、字比嘉）		
位置及び土地の形状	位置：沖縄本島中部、北中城村の国道 330 号ライカム交差点南西側（一部北側含む） ※沖縄市と北中城村にまたがって位置している。 土地の形状：緩急のある傾斜地（米軍住宅地）		
使用状況	管理軍：海兵隊（米軍住宅）		

□ 沿革	
昭 20	●軍事占領の継続として使用開始。
昭 47. 5. 15	●「キャンプ瑞慶覧」と「キャンプフォスター」が統合され、「キャンプ瑞慶覧」として提供施設・区域となる。
昭 50. 6. 30	●施設管理権が陸軍から海兵隊に移管。
平 8. 12. 2	●SACO 最終報告において、「キャンプ桑江」内にある海軍病院が「キャンプ瑞慶覧」に移設することを合意。また、米軍住宅地区を統合し、これらの施設及び区域の住宅地区の土地を一部返還することを合意。
平 18. 5. 1	●日米安全保障協議委員会（「2+2」）において、日米が平成 19 年 3 月までに作成する「統合のための詳細な計画」において、部分返還を検討することを合意。（再編実施のための日米のロードマップ）
平 22. 5. 28	●日米安全保障協議委員会（「2+2」）で嘉手納以南の施設・区域の返還が、「再編実施のための日米のロードマップ」に従って着実に実施されることを確認。
平 25. 4. 5	●日米両政府の共同発表「沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画」において、返還時期及び区域等が公表。（2024 年度又はその後）
平 25. 5. 17	●跡地利用特措法に基づく「特定駐留軍用地」に指定。

□ 返還時期及び条件	
時 期	●「統合計画」において、2024 年度（日本国の平成 36 会計年度）又はその後。
条 件	●「沖縄住宅統合（OHC）の下での家族住宅（102 戸）のキャンプ瑞慶覧（キャンプ・フォスター）内への移設」。

■跡地利用に係る取組状況等

□ 跡地利用方針・計画	
●平成 22 年度に沖縄市と合同で土地利用計画素案 3 案（既返還地区のサウスプラザ地区及び返還未合意の高速道路西側地区を含む。）を策定。	
●平成 23 年度に地権者及び有識者の意見を踏まえ、素案 4（交流まちづくり）を追加で策定。	
●整備手法としては土地区画整理事業を検討。	

□ 事業段階	
跡地利用計画（素案）策定	●早期の返還が見送られたことから平成 20 年度以降は地権者支援活動を中心に取り組んでいる。 ※現在活動休止中で特に動きはない。 ●新たな土地利用計画素案の見直しは令和 3 年度を予定しており、それまでは先行取得や地権者の意識高揚に取り組んでいく予定。